



コンテ

2007.4

3つの環境

「環境」という言葉を辞書でひくと次のように書かれています。

「そのものを取り巻く外界」(新明解国語辞典)

私は企業経営を行ううえで配慮すべき取り巻く外界「環境」は次の3つであると考えています。

- 1) 自然環境
- 2) 周辺環境
- 3) 職場環境

まず、「自然環境」を配慮するという事は、生き物や地球に優しい経営ということです。

省資源、省エネルギーがその主たる行動となり、これは経費削減にもつながります。地球汚染につながる鉛、フロンなどの有害物質を使わないような事業形態にすることも大切です。

次に、「周辺環境」です。

「周辺」とは、企業をとりまく周りのことを意味し、お客様や取引先などの直接関係する相手先、そして近隣や社会などにより間接的に関係する相手先を指します。お客様や取引先が満足するような企業にすることが「周辺環境」保全です。また、社員のボランティアへの参加や、近隣清掃なども「周辺環境」保全です。

最後に、「職場環境」です。

「職場環境」とは、社員さんが働きやすく、社員満足度の高い会社にするということです。「職場環境」は、さらに次の3つに分けられます。

- 1) 物理的職場環境; ほこり、騒音、明るさの程度
- 2) 人間工学的職場環境; 設備の配置やその大きさ、形が人間の体にあっているかどうか
- 3) 心理的職場環境; 心理的要因による働きやすさの程度、職場の人間関係や、自らが正しく評価されているかなどがその要因。

企業経営を進める上で、これら3つの「環境」上の課題に対して、いかに対応するかが大切になります。

【降旗 達生】

自社株対策について 第2回

伊藤真弘税理士事務所
税理士 伊藤 真弘

前回は、自社株の対策の重要性についてお話ししましたが今回はその自社株はどのようにして決まるのかを簡単にご紹介いたします。

といっても自社株の金額決定(評価)については様々な規定がありこの限られた紙面では限界がありますので今回は評価の種類となりが株の値段に影響を与えるかを説明いたします。

まず、自社株の評価の方法には次の3種類があります。

- 純資産方式
- 類似業種比準価額方式
- 配当還元方式

今回はまずの純資産方式についてご紹介いたします。

純資産方式は、会社の純資産(自己資本)を計算してこれを発行済株式数で割って計算します。

次の表で説明すると貸借対照表の左側は会社の資産を表示しています。また右側は会社の負債と資本の合計が記載されています。

資産 3000円	負債 2000円
土地の含み益 1000円	純資産 (自己資本) 1000円

具体的に金額であらわすと
資産 3000円 - 負債 2000円 = 1000円
・・・純資産(自己資本)

ここまでは、お手許のご自分の会社の貸借対照表を見るだけで純資産を計算することができますが、現行の日本の会計の基準は中小企業の場合、取得原価法すなわちモノは買ったときに支払った値段で表示することになっていますので古くから持っている土地などに含み益があっても貸借対照表上には反映されていません。

しかし、自社の株式の値段を計算するときにはすべての資産、負債を法律(財産評価基本通達)に基づいた時価に直し計算する必要があります。よって上記の例では土地の含み益が1000円あるとしていますので、実際は
資産 3000円 + 1000円 - 負債 2000円 = 2000円
となり、この例での会社の純資産額は、2000円となります。

次にこの金額を発行済の株式数で割ります。発行済株式数は、法人税申告書の第二表をみれば記載されています。ここでは200株としておきましょう。

ここでもうひとつ計算上の約束事があります。資産の含み益に関しては、一定の割合の金額は差し引いて計算されます。清算所得に対する税率分ですが42%が控除されます。この控除部分を利用した自社株対策をよく行いますがここでは紙面の都合上ご紹介はまたの機会にしたいと思います。

貸借対照表上の
純資産(自己資本) + 土地の含み益 ÷
発行済株式数
1000円 + (1000円 × (1-42%)) ÷
200株

するとこの会社の純資産方式による株価は7.9円となります。

この方式で計算する場合、純資産が多ければ多いほど株価は高くなります。純資産を構成する要素は、資本金と創業から現在までの税引き後の利益、すなわち内部留保の合計金額です。業歴の長い会社や黒字をずっと続けてきている会社は内部留保が大きくなっている可能性があり、その結果自社株がとんでもなく高くなっている場合があります。またこのような会社は創業時よりの土地などを持っているケースが多く、これがまた含み益を生み株価を上昇させる要因ともなります。

平たくいうと良い会社は自社株式の金額も高いということです。でもこれって当たりまえのことですよ。

それでは次回は、類似業種比準価額方式についてご説明いたします。

つづく

建設経営者倶楽部 学び・気づき・2月例会

「心に客間を持つ～株式会社赤福 濱田益嗣会長の講演に学ぶ～」

建設経営者倶楽部 理事 水野博旨

(株式会社ミズノ 代表取締役)

建設経営者倶楽部 KKC とは

フレンドリーでいい雰囲気の中、建設経営者として、厳しい業界での外部環境の突破口になる学び気づきのある会です。二宮尊徳のことは「積小為大」ではないですが、学び気づきの中で、一歩づつ少しづつ目標が幻でなく夢になり、実現できうる可能性が大きくなる会です。建設経営者倶楽部とは、いい仲間づくり、旬を感じ、鮮度を下げない場です。

「創業300年 のれんを守る方法」
～カリスマ経営者に学ぶ経営術～
赤福 濱田益嗣会長のすばらしい講演でした。紙面で学びの一部を紹介します。

経営は管理ではない

- ・才覚がある経営者が社長にならないといけない
- ・過去の引き出しで仕事をするのは管理者。
- ・経営者は新しい商いの形を考えるとこの才覚がなければならぬ。

日本の設計家は数学者だ。スペインの設計家は芸術家だ

顧客の好みのなかこそ、存在理由がある。

お客様の満足を第一に考えないといけない。

そして、心に客間を持つ必要がある。

この世に生を受けた幸せを謳歌しなければならぬ

個性的体質を考える。妥協して儲けるな

季節を知ったら暮らしが楽しくなった。(こころが満足する感覚満足企業)

それぞれ思いっきり努力するのだから、思いっきり儲けなくてはならない

自社をアピールできるものがパッケージ

ジ
・商品にパッケージがなければ利益はない。

・建設業はパッケージがないから駄目なんだ。

時代の嗅覚：ターゲットは日本の大衆の臭いのするところ

神恩感謝

顧客の満足するところに商人のこころがある。

それが企業の持ち味、個性となる。

300年の歴史を守ろうと思ったら守れない。

逆につぶさないようにと思ったら萎縮してつぶしてしまう。

守ろうと思ったことは一度もない。

したいことをやり続けてきただけだ。

広告が「損だ得だ」で出すから味わいのないものになる。

商品には、頭で考える知的面と、心で感じる感覚面の二つの満足がある。